

地域から始めよう



◇ 青パトをご存じですか？



青パトとは、青色回転灯を装着した自動車による、地域の自主的な防犯パトロールを言うにゃん！！

全国では子どもが巻き込まれる事件や事故が発生し、県内では空き巣、乗り物盗などの犯罪が依然多発する中、県民の安全を守り、犯罪抑止に努めるべく、県の公用車による青パトを実施しています。

青パト実施には実施者証が必要となり、その交付を受けるには講習会の受講が必要となります。県では職員を対象に、毎年9月頃「青パト講習」を実施しています。

青パトってどんなことをするの??

- 学校周辺や通学路のパトロール
- 犯罪や事故を発見した際の警察などへの通報
- 不審者(車)などを発見した際の警察への通報
- 迷子や傷病者などの救護を要する者を発見した際の警察等への通報と一時的な保護
- 犯罪や事故が発生しやすい危険な場所の点検や警察などへの通報



9/2(水)県庁での青パト講習の様子

～・～◇ 防犯責任者の登録について ～・～

静岡県では、犯罪の起きにくい、誰もが安全に安心して暮らせる社会をつくるため、平成16年4月、＊静岡県防犯まちづくり条例を施行し、県民の皆様と協力して「防犯まちづくり」を進めています。

同条例では、事業者の皆様が犯罪の防止に配慮した事業活動を進めていただくため、事業所ごとに防犯活動の中心となっていただく防犯責任者を設置し、防犯対策を進めていただくようお願いしています。

今現在、約7,500の事業所にご登録いただいている状況です。

＊静岡県防犯まちづくり条例(抜粋)

(事業者の責務)

第4条

事業者は、事業活動における安全の確保に自ら努めるとともに、地域における防犯まちづくりに関する自主的な活動に協力するよう努めるものとする。

2

事業者は、県がこの条例に基づき実施する防犯まちづくりに関する施策に協力するよう努めるものとする。

(防犯責任者)

第21条

事業者は、その事業活動における安全の確保のため、事業所ごとに防犯に関する責任者を置くよう努めるものとする。

2

前項の責任者は、当該事業所において防犯設備の維持管理、従業員への防犯に関する指導その他の犯罪の防止のための必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

防犯責任者を設置して下さった事業所にステッカーをお配りしています。



事業者のみならず
新しい支店などが
増えたら、その都度、ご登録
をお願いいたします
すにゃん！！

毎年「防犯責任者
専門セミナー」も開催
しています。ご参加
お待ちしております
すにゃん。



◇ 定期購入が条件の通信販売にご注意ください！

要注意ワード！！

通信販売×お試し

インターネット通販で、「初回お試し 500 円、10 日間解約保証」と記載された健康食品を注文した。効果を感じられなかったため、解約保証期間中に解約することにした。しかし、事業者に解約を申し出ると、「解約するなら、5ヶ月分の商品代金を支払う必要がある」と言われ、解約保証期間中であることを伝え、「解約条件が5ヶ月分の商品代金を通常価格で支払うことである」と言われてしまった。規約を確認すると、かなり下部にその内容の記載があり、注文時には全く気がつかなかった。



定期購入に関する相談件数



令和元年度、県及び市町の消費生活相談窓口で受け付けた件数は、平成 30 年度の 2 倍以上！

- 🍀 **注文時に「定期購入が条件でないか」「解約・返品できるか」など、契約内容や解約条件をしっかり確認しましょう。**
- 🍀 **事業者に連絡した証拠として、電話・メール等の記録を残しましょう。**

消費生活についてのご相談は、下記をご利用ください。

○消費者ホットライン

188 (いやや！)

※電話をして郵便番号を入力すると、お近くの市町の消費生活相談窓口へおつなぎします。

○県の消費生活相談窓口

東部県民生活センター TEL055-952-2299
 中部県民生活センター TEL054-202-6006
 西部県民生活センター TEL053-452-2299

出典：くらしのめ 増刊号 2020.9発行

◇ 点検業者を装う強盗事件連続発生！

出典：県警ホームページ

事例

8月首都圏で、警察官などを騙り、現金の所在を確認するサギ電話後、ガス会社やガス点検業者を名乗る男が、点検名目に60歳代から90歳代の高齢者宅を訪問、粘着テープで縛るなどし、現金やキャッシュカード等を強取る強盗事件が連続して発生しています。(この他に消防設備点検業者を装う強盗事件も発生。)

防犯対策

- ◆ 業者を騙る者からの、点検名目の電話や訪問の際は、ご自宅で契約中の会社等に、点検実施の有無を確認しましょう。
- ◆ 点検を実施していない場合や、訪問者の服装等から不審に感じた場合は、すぐに110番通報してください。
- ◆ 今回の強盗事件の一部は、自宅固定電話へのサギ電話が犯行の入口になっています。**在宅中でも留守番電話の設定などの「電話機対策」を実践しましょう。**